

令和4年度 事業計画書

特別養護老人ホーム

ショートステイ

デイサービスセンター

ヘルパーステーション

ケアプランセンター

社会福祉法人 恕心福祉会
加古川さくら園

加古川市東神吉町神吉字北山1844番5

I 令和4年度 事業（再生）計画

施設長 福島 裕之

加古川さくら園も開設13年目となり、本来であれば安定的に施設運営を行っておらねばならない状況にあるが、昨今の介護業界における深刻な介護人材不足に当施設も見舞われ、職員の確保、育成、定着に多大なる支障となっているとともに、職員確保のためのコストが経営環境に大きく影響を与えている状況である。

また、この間、介護事業者数も増加しており、特に入居型の同種異種介護施設が増えことで特別養護老人ホームへの入居申込者が激減している状況にあり、複数の空床期間が長く発生してしまうことにより財政面を厳しくしている状況にある。さらに介護報酬においても、要介護4以上の新規入居者を一定割合確保しなければ加算を算定できなくなったことも新規入居者獲得を難しくしている。

そして新型コロナウイルス感染症の影響である。

感染対策に資金と時間、労力を使っても発生を防ぐことはできず、一人でも発生するとクラスターとならないように細心の注意をはらわざるを得ず、当施設の運営経営に多大な負担となってしまっている状況でもある。

このような状況の中、令和4年度において次の4項目を重点課題として取り組み、事業及び財政面での再生を図っていききたい。

1. 組織体制の見直しを図る
2. 新型コロナウイルス等の感染症対策
3. 増収に向けた取り組みおよび支出の削減
4. 職員の確保と育成、及び定着

(重点課題)

1. 組織体制の見直し

開設以来、事業安定のための強い組織づくりを目指し運営してきたが、中間管理職的役割の役職者を配置することができず、また配置したリーダー職が十分機能できているとは言えず、ともすれば直接施設長が統制や管理をしている状況にある。この体制のままでは健全で強い組織体制とは言えず、職員の育成、ひいては定着にも悪影響を及ぼしているとも考えられるため、これまでの組織を見直し、また役職者の役割を明確にして各部署・部門ごとに管理統制していく体制とする。

2. 新型コロナウイルス等の感染症対策

ひとたび感染症が発生すると容易に集団感染してしまう環境にある当施設にとって、感

感染症の脅威は極めて大きいものとなり、事業を継続していくためには膨大な負担を強いられることが予想される。またご利用者が高齢であるとともに基礎疾患を有する方が大多数であることを考えれば、ご利用者の安全確保に向けて万全の対策が求められるところである。

(1) 感染症対策の徹底

マスクの着用・三密の回避・換気・手洗い・消毒・検温・必要物品の備蓄・症状有無の観察・社会的検査の利用（PCR・抗原検査）

(2) 業務継続計画（BCP）の策定

(3) ご利用者と職員に対するメンタルヘルスへの対応に努める。

新型コロナウイルスへの予防対策や感染者発生時の対応が長期間にわたっており、ご利用者、職員とも大きなストレスとなっている現状にあるため、感染症対応はしっかりとしながら、できる限り負担を軽減していくように努めていく。

3. 増収に向けた取り組みおよび支出の削減

(1)

①特別養護老人ホーム

目標利用者数 49人/日 （※令和3年度見込み 46.9人/日）

- ・要介護4以上の入所待機者数の増加に努めるとともに、待機期間中の状態をこまめに把握していくことで欠員発生時の速やかな入所調整をはかっていく。
- ・入院中のご利用者の居室活用を図る。
- ・自立支援促進加算（300単位/月）の取得を検討していく

②ショートステイ

目標利用者数 9人/日 （※令和3年度見込み 6.2人/日）

空きベッド情報をこまめに関係各事業所に案内していく。

特養入所を希望されているご利用者の要介護度が適切か適宜確認していく。

③デイサービス

目標利用者数 25人/日 （※令和3年度見込み 20.6人/日）

①従来から行っている作品創作活動をより強化し、完成した作品や完成させるまでのプロセスを通して、各ご利用者のご家族とコミュニケーションを深めることで信頼を得ていくとともに、ひいては新規のご利用者に事業所として選んでいただけるサービスに繋げていく。

②介護員における介護福祉士の割合を増やしサービス提供体制加算の算定を図る。

③入浴介助加算（Ⅱ）の取得に努めていく。

(2) 支出の削減

①職員にしっかりとコスト意識を持たせていく。

②人員の確保が厳しいこともあり、できるだけ効率のよい人員配置となるよう、各部

署で日課業務を改善させていく。

- ③水道光熱費、特に電気料金が高騰しており、より一層の節約を働きかけていく。
- ④全体的に物価が上昇しているため、職員に対しては設備や備品、物品の取り扱いには十分に注意をさせ、大切に扱う意識を持たせるよう指導していく。

4. 職員の確保と育成、及び定着

(1) 人員の確保

ハローワークや求人広告での募集効果がほとんど見込めない状況であり、人材紹介会社を通じての人員確保が主となっているが、その紹介手数料も高額となるため、できるかぎりコストを掛けずに人員を確保することが必要となる。

については当施設側からの情報発信を強化するためホームページの活用、充実をはかっていく。また、就職フェア等の機会へ積極的に参加するとともに、採用担当者だけでなく介護職員等も参加させアピールさせることで人員確保に繋げていきたい。

(2) 職員の育成

- ①新入職員に対して各部署において指導担当職員を決めて育成・指導していく。
- ②全職員対象に定期的に面接を実施し、職務の理解やスキル、待遇面での確認を行い、振り返りとともに個人の目標を設定させてその達成のためにサポートしていく。
- ③リーダー層を育成していくためにそれぞれの部署において、方針の決定・業務内容の見直しと改善・それらを実現していく実行力を指導していく。
- ④外部研修への参加を促進していく。

(3) 職員の定着を高めていく。

やりがいのある働きやすい職場づくりを目指し、風通しのよい雰囲気をつくっていくために、上司が相談を受けやすいように日頃からコミュニケーションを深めていくよう指導するとともに、職員の負担を軽減し効率的な業務が行えるよう環境を整備していく。

II 施設サービス

1. 相談部門事業計画

(1) 重点項目

- ① ご家族との信頼関係が築けるように、利用者一人一人のご様子をできる限り理解し、こまめな「報告」「連絡」「相談」に努める。ご家族と施設の意見が上手に交わるようそのパイプ役を果たすと共に、信頼関係を構築していく。

また、病院、関連事業所等との利用相談、適宜の状況報告を綿密に行い、信頼関係を構築し、入所等の候補・調整を図り、介護度4以上利用者の計画的な受け入れを図る。

- ② 安定した運営体制の構築に向けて介護・医務部門と連携し、入院を伴う体調悪化の予防に向けて早期発見し、空床期間の削減、空床率の軽減を図る。

入所意向調査、予備面接、事前調整を行い、利用者の選定・調整・事前面接の計画的実施を図り、受け入れ候補者を安定的に確保する。

- ③ 利用者のADL、ケアプラン（施設サービス計画）の達成状況の把握に努める。QOLの向上に繋げるために他職種共同によるケアプラン作成の充実を図る。

介護支援専門員も可能な限り直接利用者に関わるよう心掛け、介護現場の支援及びケアカンファレンスを通して、ケア力と共にチーム力の向上に努める。

(2) 数値目標

(特別養護老人ホーム)

	令和1年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
平均稼働率	98.6 %	97.6 %	93.8 %	98 %
平均利用者数	1503.8 人	1484.7 人	1427.3 人	1492.9 人

(短期入所生活介護)

	令和1年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
平均稼働率	88.3 %	65.8 %	61.8 %	85 %
平均利用者数	269.3 人	200.1 人	188.1 人	258.5 人

(3) 年間計画（行事・研修・その他）

4月	入所者健診	2月	入所申込者意向確認
5月	入所者健診		
6月	入所者健診		
9月	インフルエンザ予防接種準備		
10月	インフルエンザ予防接種準備		

2. 入所介護部門事業計画 うぐいす通り・やまぶき通りユニット

(1) 重点項目

- ① 事故報告書やヒヤリハットを職員間で共有し、対策を話し合う事で事故を減らす。また、同様の事故を繰り返さないよう職員間で注意しあう。
- ② 日頃よりこまめな声掛け、コミュニケーションをとる事で、体調不良等の異変に早く気付けるよう努める。
- ③ 個々の生活リズムや排泄パターン等を見直し、一定の時間に重なっている業務を分散する事で、限られたスタッフの数でも負担なく回せるよう努める。
- ④ 24Hシートを活用・一覧化する事で、どの時間にスタッフが必要か見直し、定められた休憩時間を確保できるよう努める。

(2) 年間計画（行事・研修・その他）

4月	花見	10月	食レク
5月	食レク	11月	食レク
6月	食レク	12月	クリスマス会
7月	食レク	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	食レク
9月	敬老会	3月	食レク

3. 入所介護部門事業計画 ききょうが丘・つつじが丘ユニット

(1) 重点項目

- ① 職員間の連携をとれた介護にする為、利用者の状態や、業務内容の変更等の連絡事項があれば情報を得た職員が伝達できるように連絡ノートに記入して、その情報を他職員が把握するため、出勤時に職員は連絡ノートを確認して情報を共有する。日々同じ介護が出来るように取り組む。また、スタッフ間でコミュニケーションをとり話しやすい場にする。
- ② 入居者が穏やかに過ごせるように、安心できる環境づくりに努める。またアセスメントを行い入居者の意思を尊重し環境を作る。そして尊敬の意を込めた言葉使い、挨拶、声掛けをして安心して過ごして頂く。
- ③ 月1回のレクリエーションを計画し、参加して頂いて季節感を感じて頂く。
- ④ ユニット会議を開催して、統一した介護が出来るよう話し合う。多職種にも参加してもらい情報の共有し相談する。

(2) 年間計画（行事・研修・その他）

4月	食レク(お花見)	10月	おやつレク
5月	おやつレク	11月	食レク
6月	食レク	12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	食レク
9月	食レク(敬老会)	3月	おやつレク

4. 入所介護部門事業計画 あおば台・あかね台ユニット

(1) 重点項目

- ① 業務の効率化を図ることにより、時間外労働を減らし、職員の負担を軽減する。
- ② 外部、内部問わず、研修に参加することにより、職員個々のスキルアップを図る。
- ③ 各部署と連携を密にし、より良いサービスの提供、個別ケアの提供を行う。
- ④ 介護事故の減少を目指し、ボディチェック等の徹底、事故報告書の速やかな提出を行う。また、事故報告書等で得られた情報を分析し、再発防止の為にリスクマネジメントを行う。
- ⑤ 新型コロナウイルス対策のため、感染対策の徹底。職員においては、感染症を持ち込まないということを前提とし、普段の生活の中からも感染対策を意識する。

(2) 年間計画（行事・研修・その他）

4月	花見弁当	10月	茶話会
5月	炊き込みご飯作り	11月	お寿司パーティー
6月	お菓子作り	12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	節分巻き寿司
9月	たこ焼き作り	3月	お菓子作り

5. 医務部門事業計画

i 医務

(1) 重点項目

- ① 呼吸器系の疾患理解や、ケアの方法についての喀痰吸引研修を実施する。
(年に1~2回実施 夜勤者の個別での研修実施、定期的な医療機器点検・確認)
- ② 終末期に伴う体の変化や家族との関わりについて、また観察ポイントや記録の書き方についてのターミナルケア研修を実施。
- ③ 認知症の理解を深め、対応やケアについての認知症ケア研修を実施。
- ④ 救急蘇生・AED、吸引器、酸素ポンベの取り扱い 観察の必要性についての研修会を実施。
- ⑤ 自分のケアを振り返り利用者主体の介護について考えるため、不適切なケアについての研修会を実施。
- ⑥ 感染対策委員会を通して感染症の理解を深め、集団感染が起こった場合の施設での対応について、周知徹底し、日々の感染対策の意識を高めていくとともに新型コロナ感染症についての知識を深める。また感染対策マニュアルの見直しを行う。標準予防策の実施が行えるよう物品管理や職員への指導を行う。
- ⑦ 毎月のレクリエーション行事の計画とお誕生月には外出や外食レクへの参加ができるように、各ユニット及び相談課と連携し計画を立てていく。
- ⑧ 機能訓練指導員とともに、入居者のリハビリに取り組む。
- ⑨ 栄養状態・健康状態の把握に努め、栄養部門・介護部門・ご家族と連携しながら、ケア会での栄養評価NST (Nutrition Support Team) の実施を行い体重の推移に注意しながら、水分摂取量の確認や褥瘡予防、栄養管理の徹底を図る。
- ⑩ 口腔機能の維持に努め、できる限り経口摂取を行えるようバタカラ体操、口腔体操を実施し、適宜歯科医や歯科衛生士と情報共有をおこない、看護・介護・栄養部門との密な連携を図る。

(2) 年間計画 (行事・研修・その他)

4月	入居者健診 救急蘇生法研修	10月	広報作成
5月	入居者健診	11月	インフルエンザ予防接種 感染対策研修
6月	入居者健診 広報作成	12月	
7月		1月	広報作成
8月	職員健診	2月	職員健診 (夜勤者)
9月		3月	

ii 機能訓練

(1) 重点項目

- ① こまめな手洗いや手指消毒を実施し、感染防止に努める。
- ② 協力病院と連携し、理学療法士に月に一度訪問して貰い、利用者の状態を診てアドバイスやリハビリメニューの提供を受ける。また、月に一度ケアカンファレンスを行い他職種間の認識を統一し、問題を共有する。利用者ごとに目標、実施方法等を内容とする個別機能訓練計画書を作成し、それに基づいて個別機能訓練を実施する。効果や実施方法等について、月に一度評価を行う。
- ③ 個別機能訓練開始時及びその後、三カ月ごとに一回以上、利用者又はその家族に対して、個別機能訓練計画の内容（評価も含む）を説明し、記録する。
- ④ 利用者に安全安楽な生活を送っていただく為に、血液、リンパなどの循環機能の改善、拘縮、肺炎、骨折、褥瘡の予防、疼痛の緩和、関節可動域の拡大及び維持を目標に、各部署の協力を得ながら、日々の訓練を行う。
- ⑤ 日常生活全般がリハビリテーションであると考え、食事、排泄、入浴、更衣、整容など、利用者に合った適切な方法、介護方法を訓練、指導し、残存能力を活用して生活機能の維持と向上を図ると共に、習慣化することによる日常生活への定着化を図る。
- ⑥ 集団訓練では、ラジオ体操、季節行事、レクリエーション等を通して、季節感と刺激、社会との交流を行いながら機能を維持し、能力が発揮出来るように援助する。
- ⑦ 個人の身体状況の変化に合わせた肢位保持の確保や介助方法、車椅子やベッド周囲の環境調整や福祉用具等の活用の助言を行う。また、福祉用具を活用して、利用者、職員の負担軽減、安全安心な介護の提供を行う。
- ⑧ 研修会に参加してスキルアップに努め、職員間での共有を図る。

6. 栄養部門事業計画

(1) 重点項目

- ① 利用者それぞれの身体状況や栄養状態、嚥下咀嚼能力に対応した食形態、栄養補給法を随時検討する
- ② 多職種でのケアカンファレンスにて、利用者の体重や摂取量、検査データ等を把握しケア内容を検討し、必要に応じて食形態や提供栄養量を変更する（低栄養状態高リスク者への栄養補助食品提供等）
- ③ 栄養ケア計画書の作成（3か月に1回以上ご家族様に郵送）
- ④ 栄養強化マネジメント加算、療養食加算の実施

- ⑤ 利用者に食事を楽しんでいただけるような食レク、おやつレク、喫茶レクの実施
- ⑥ 利用者の嗜好に配慮した食事の提供（苦手な食材に関しては代替食の提供を行う）
- ⑦ 食事時の利用者の食事摂取状況の観察や聞き取りを行い、他職種と連携し栄養管理に取り組む（変更等があった場合は必ず記録し管理を徹底する）
- ⑧ 衛生管理の徹底（手洗いを徹底し手指を介した二次汚染防止に努める、嘔吐物等で汚染された食器類は、調理場外で消毒してから調理場に返却する）
- ⑨ 感染症対策
 - ・食事前にテーブル等をアルコールで拭く
 - ・給食関係者や職員、利用者の手指消毒の徹底
 - ・使い捨て手袋の使用
 - ・アクリル板等の設置や換気の徹底
 - ・食事時の私語・会話を控える
 - ・感染疑い及び陽性患者の方への使い捨て食器の活用や食器使用後の消毒の実施
 - ・間隔をあけて座るなどの対面にならない工夫を行う
 - ・職員食については食事時間をずらすなど密にならないよう配慮する
- ⑩ 非常時、緊急時（災害等）に安全に継続的に食事提供を行う
 - ・施設全体及び給食従事者の緊急時の連絡体制の明確化
 - ・備蓄食品の整備（災害発生時の食事提供に必要な水、食料、調理用の熱源や調理器具等その他の物品等を備え、賞味期限の入れ替え等による在庫管理も同時に行う）
- ⑪ 外部の研修会への参加、知識の向上

(2) 年間計画（行事・研修・その他）

4月	花見弁当	10月	
5月	子どもの日	11月	
6月		12月	クリスマス会、餅つき、忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会、鍋
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り

毎月：おやつレクまたは食事レク、お誕生日メニュー、喫茶レクの実施

II 在宅サービス

1. デイサービスセンター事業計画

(1) 重点項目

- ① 通所介護計画書(在宅生活の継続を念頭に入れて作成)に基づくケアの実施(個別に沿ったサービスを提供)。
- ② 特に要介護利用者の新規利用及び安定利用を目指す。
- ③ 利用者間の交流の提供：各記念行事及び季節の行事を行う際に円滑な交流を図れるよう配慮する。
- ④ レクリエーションの充実：様々なプログラムを用意し、利用者の好奇心や運動意欲を満たす。それぞれの趣味や嗜好に合わせて、個人や小集団向けのプログラムも準備する。
- ⑤ 家族に対する支援：安心して在宅生活を維持できるよう、家族と密に連絡を取り信頼関係を築き、話し合う場をつくるよう努める。家族の希望を受け止め、利用者をデイサービスセンターと共に支えていくという気持ちを持っていただけるよう援助し、利用者と家族の生活の安定を図る。また、利用者と家族の日常生活についての相談を受けると共に必要に応じて家庭訪問を行い、利用者・家族の環境把握に努める。
- ⑥ 接遇対応：接遇の基本心得を頭で理解していても‘心’が伴わなければ、実際に態度や言葉として表すことは出来ない。接遇対応の基本は、利用者を想いやる‘心’、利用者大切に‘心’がその場に相応しい行動となって表れた時、初めて誠意ある態度として利用者に伝わる。以上を念頭におき、爽やかな笑顔と‘心’のこもった接遇対応に努める。
- ⑦ 利用者の為に：利用者が自立した在宅生活を継続するために、職員は利用者の能力を見極め、個々の利用者のニーズに応じた支援をする。
- ⑧ キラリ輝いた目標：経験豊富な人員で構成され、皆人当たりが良く、助け合っていく風土が根付いています。令和4年度も、チームケアに必要なチームワークを高めていく。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染対策を中心に各種感染症対策強化を図り、安心・安全な福祉サービスの提供に努める。
- ⑩ 地域交流の推進と、ボランティアとの連携：地域との交流推進を目的に、地域団体やボランティアと連携し、地域行事に積極的に参加する。新型コロナウイルス感染終息後には地域のボランティア団体の方に訪問をお願いする。
- ⑪ 満足度調査：年1回 利用者、家族に対しアンケート調査を実施し貴重なご意見等をいただき、支援内容に反映し、より良い支援が行なえるように努める。
- ⑫ 営業活動：利用者数、稼働率の目標を意識し、安定した経営が計れるように営業活動に努める。
- ⑬ 職員の資質の向上と研修
 - i 外部研修の参加：外部の研修に参加し、自己を磨き利用者様に対する意識、技術の

向上を図れるよう努力する。

ii 法人内部研修の参加：内容に応じ職員が参加し施設業務に活かす。

⑭ 加算の取得増による事業収入の増加：加算項目をチェックし取得可能な項目は積極的に取得する。

⑮ 家族に安心をお届けするこだわりの連絡帳：写真を付けデイでの過ごし方を家族にも感じていただく。連絡帳そのものが思い出のアルバムになります。

(2) 数値目標（標準事業所規模定員：35名）

	令和1年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
平均稼働率	70.6%	67.4%	58.9%	71.4%
平均利用者数	24.7人	23.6人	20.6人	25.0人

(3) 年間計画（行事・研修・その他）

4月	おやつ作り(桜餅)	10月	秋の運動会
5月	スイーツバイキング	11月	スイーツバイキング
6月	仮装カラオケ大会	12月	餅つき、クリスマス会、忘年会
7月	七夕祭り	1月	新年祝賀会
8月	夏祭り	2月	節分(豆まき)
9月	敬老会	3月	ひな祭り

*お誕生日会、茶話会、おやつ作り、書道教室は毎月実施しています。

*制作活動、カラオケ、各種体操、レクリエーションは毎日実施しています。

2. ヘルパーステーション事業計画

(1) 重点項目

① 接遇を学び、常に相手の立場に立ち気持ちに寄り添い『忠恕の精神』のもとサービスを提供する。

② 認知症についての知識を深め適切な対応を行うことで全ての利用者に住み慣れた地域、自宅で穏やかに過ごして頂くよう図る。

③ 業務の遂行だけでなく利用者の体調や生活の変化に常に気付けるよう、日頃から利用者、家族ともコミュニケーションを図り、関係機関への報告、連絡、相談を密に行い、緊急時でも敏速な対応が摂れるようにする。

④ 無駄のないようスケジュールを組み、経費や人件費の節減を図る。

⑤ 高齢者の特性や訪問介護の特性と形態に応じた感染症の特徴を理解し、感染症に対

する基本的な知識（予防、発生時の対応、高齢者がかかりやすい代表的な感染症についての正しい知識）を学び日常業務における感染対策の実践を行う。

- ⑥ 自身が感染源や媒介者にならないよう健康管理に努める。

(2) 数値目標

	令和1年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
平均訪問回数	260回	276回	279回	287回
平均利用者数	36件	37件	34件	35件

(3) 年間計画（行事・研修・その他）

4月	・認知症研修	10月	・高齢者心理の理解、疾病について
5月	・コンプライアンス	11月	・冬の感染症及び食中毒研修
6月	・夏の感染症及び食中毒研修	12月	・虐待研修
7月	・熱中症予防研修	1月	・接遇研修
8月	・事件事例、ヒヤリハット研修	2月	・リスク予防研修
9月	・守秘義務、プライバシー保護研修	3月	・緊急時の対応研修

3. ケアプランセンター事業計画

(1) 重点項目

- ① 標準件数である35件が可能な限り維持できるように、新規・入院・終了などの件数調整を随時図っていく。
- ② 継続して新規利用者が獲得できるように、事業所訪問や研修参加を継続し、関係機関との交流を深めておく。
- ③ 必要な書類の不備や抜け落ちがないか確認し、必要書類の管理を行う。
- ④ 不要な業務の洗い出しを行い、最低限必要な業務と選別する。書類の簡素化も行い、業務時間の短縮を図る。

(2) 数値目標

	令和1年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
平均利用者数	30.4件	29.1件	36.5件	35.0件

(3) 年間計画

6月	6/16 自立支援ケアマネジメント会議
----	---------------------

